

eco なび



2

足立区環境情報プラザ

No.11 | 2025

— 生き物のすみかを守ろう —

本木ワンド 保全活動体験会

多様な生物が息づく本木ワンド※の
環境を整える活動を体験

※ワンド:河川敷にできた池状の入り江

本木ワンドで
見られる
植物や生きもの



オオイヌノフグリ



オオバン

3.8 土 10:00-12:30

会場：荒川河川敷

■講座の詳細内容は3面をご覧ください



いきものさがしビンゴゲーム

2/1 **土** ~ 3/31 **月** 9:00 ~ 17:00

※施設休館日の2/10(月)、3/10(月)を除く

環境情報プラザでもらえるビンゴカードに載っている、荒川河川敷(虹の広場)にいる9種類の生き物を見つけましょう。期間内のお好きなタイミングで参加できます。

対象 どなたでも **参加費** 無料

窓口 環境情報プラザ(「学びピア 21」4階)



カタバミ



ムクドリ

荒川河川敷でさがしてみよう!



自然とふれあう

川あるきの日



3/1 **土** 10:00 ~ 11:30

※小雨決行、荒天中止



荒川河川敷をのんびり歩きながら自然観察をします。

対象 どなたでも **定員** 20名 **参加費** 無料

持ち物 動きやすい服装(長袖長ズボン着用。サンダル不可)、飲み物、帽子、タオル、雨具(雨天時)

講師 環境情報プラザ職員 **会場** 荒川河川敷~わんど広場

参加方法 当日、集合場所(足立区環境情報プラザ)で参加証配布



環境・これも考えよう!



自動車が出すCO₂のはなし

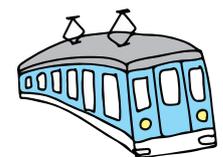
買い物に通勤、時には旅行など、私たちは日ごろから便利に自動車を使っています。つまり自動車を走らせガソリンを消費し、CO₂を出してもいます。では、自動車が出すCO₂の量はどれくらいになるかご存じですか?

車が1km走行した際のCO₂の排出量は、概算でガソリン車は115g、ディーゼル車は112.9g、ハイブリッド車は75.4g、電気自動車は57.9gです。

電気自動車はCO₂を出さないはずでは?と思う方もいるかもしれませんが、日本の電力事情を加味するとそうではないのです。日本の電力は約70%を火力発電で賄っており、充電に使用する電力量から計算すると、CO₂排出量はガソリン車の半分ほどとなり、現状では排出0とは言えません。

どうすればCO₂排出量を減らせるでしょう。たくさんの方が、それぞれ1台ずつ自動車を使っているのは、CO₂排出量は増えるばかりです。1度の移動で多くの人を乗せることができる電車、バスなどの公共交通機関を使うことや、ガソリンを使わない自転車を積極的に活用することで、CO₂排出量を少なくしていくことが必要です。

買い物や通勤、旅行などで使う移動手段について、改めて考えてみましょう。



出典: ① 国土交通省 環境: 運輸部門における二酸化炭素排出量

② 環境省 電動車や天然ガス車等の次世代自動車や低燃費車等の温室効果ガスの排出のより少ない自動車の導入



環境講座プログラム

申込開始日
2/12 水



12 つくる責任
つかう責任
環境
「ミニキエーロ」の製作と利用
3/2(日) 10:00~12:00

微生物の働きで生ごみを分解する「ミニキエーロ」の作り方と使い方をお伝えします。また、土と微生物の働きについても学びます。

対象 区内在住・在勤・在学の方 **定員** 10名 **参加費** 無料

持ち物 筆記用具

講師 足立区環境情報プラザ 館長 田沼繁

会場 生涯学習センター 研修室3
(足立区千住5-13-5 「学びピア21」内)

アクセス 常磐線・東武線・つくばエクスプレス線・東京メトロ
「北千住駅」より徒歩15分
都バス・東武バス「千住四丁目」下車5分
コミュニティバスはるかぜ「学びピア前」下車1分

「キエーロ」ってなあに？

キエーロとは、土の中にいる微生物の働きで生ごみを分解し、消滅させることができる生ごみ処理容器のことをいいます。生ごみを投入し続けても土の量が変わらないこと、臭いで悩むことが少ないのが特徴です。



15 陸の豊かさも
守ろう
環境
本木ワンド
保全活動体験会
3/8(土) 10:00~12:30

ごみ拾いや草刈りなど、多様な生物が息づく本木ワンド※の環境を整える活動を体験します。身近な河川の保全活動について学びましょう。

※河川敷にできた池状の入り江

対象 区内在住・在勤・在学の方 **定員** 50名 **参加費** 無料

持ち物 動きやすい服装（長袖長ズボン着用。サンダル不可）、飲み物、帽子、タオル

講師 足立区本木・水辺の会

会場 荒川河川敷 本木ワンド（現地集合・現地解散）
※当日、扇大橋下流側「本木ワンド」看板前集合

本木ワンド保全活動体験会・集合場所



講座のお申し込み方法

申込先 足立区環境情報プラザ 〒120-0034 足立区千住5-13-5（「学びピア21」4階）
[TEL] 03-5284-7358 [FAX] 03-5284-7359

申込方法 窓口・電話・ファックス（重複無効） **必要事項** 住所・氏名・電話番号・希望講座名

申込開始 令和7年2月12日（水）9:00～ 定員に達した場合は、キャンセル待ちとなります。

※講座の詳細は、足立区環境情報プラザまでお問い合わせください。



環境図書コーナー

都市農業の変化と援農ボランティアの役割 支え手から担い手へ (筑波書房)

著 後藤光蔵、小口広太、北沢俊春、田中誠



援農ボランティアとは、高齢化や後継者不足に悩む農家を支援する、農作業に興味がある人をいいます。特に農地が減少しつつある都内では、次世代の農業従事者を増やすためにも、重要な役割を担っています。

本書は、援農ボランティアの普及やあっせんのあり方など、足立区を含めた事例を網羅しています。農業の担い手を絶やさないために、援農ボランティアに求められる役割を考える1冊です。

使ってる? 農産物直売所

野菜や果物をどこで買う? 足立区には、新鮮な野菜や果物を生産者が直接販売する直売所がたくさんあるよ!

区役所近くのJAが運営する「あだち菜の郷」や、農家さんが庭先でやっているところもあるんだ。直売所に行ってみよう!



① 足立区内の主な農産物直売所



② 足立区 農業ボランティア制度



足立区では、ペットボトルキャップの回収、 使用済みインクカートリッジの回収、 フードドライブを実施しています。



ペットボトルキャップ



インクカートリッジ



フードドライブ

設置施設、および受付時間などの詳細は
区のHPで(二次元コードより)ご確認ください。

ご協力を
よろしくお願いします。

足立区環境情報プラザ「ecoなび」 2025年2月号

発行 足立区環境情報プラザ

住所：〒120-0034 足立区千住 5-13-5(「学びピア21」4階)

アクセス：常磐線・東武スカイツリーライン・つくばEX・
日比谷線・千代田線「北千住」下車徒歩 15分
都バス・東武バス「千住四丁目」下車徒歩 5分

電話：03-5284-7358

FAX：03-5284-7359

営業時間：午前9時～午後5時

休館日：2月10日(月)



▲足立区 HP

